治言 基 見 人行頭母頭頭 介之三川小 人 前 伊 日丁一是子太宗始章 社设日城京 新台灣台 斯特勒

荒井のお乳 電話龍山七三二

第四席 吳炳道氏作(氣扇浦カメラ俱祭部)第五席 中島甲馬太氏作(天邱賈貴會)

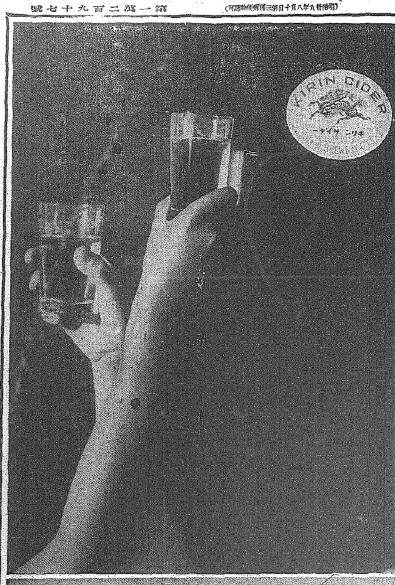
(同右)第二席 山根次延氏作 (南鮮恩景)(下右から)第三席 藤卉雅男氏作 (本浦光麗時気息)

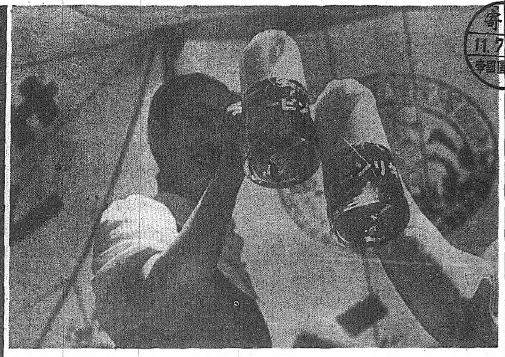
(上左)第一席 篠原勝利氏作(木前光藍帆霓色)

第四部キリンビール入賞者

電本局一〇〇四

(8) 8九





美業商る光

気にとられたやうな顔が交、酒配

虫よけには

とわからなかつた。その、

呆つ

「たつた今、いくらでも酒は買つ

「さらだ……こんな時に」

映いた。

念佛を置いて、

お吉は、何を怒られたのかちよ

この、壁つきめ」 ら共に、砂になって降けた。 数次の頂へは中たらなかったがう の顔をかすめて、いきなり一枚の

と夜が延けて、

大の明ついつかつて、別しい音 血が飛んで来た。小皿は、幸に 既床へ復具をしきかけると、

の船に生似をこしらへたり、前貴

人の酒代を稼ぐのであった。自分

から夜の迸けるまで、あしたの自 の機器はの前に腕をかけた を済まし、それが片づくと、土油

概の根を突いて、お言は、それ

の復否をあびせる酒を、避ずに働

み試の初最鮮朝・盟聯眞寫鮮朝全









笑つ立つて來ると、何をいひわ

石に振り強したと思ふと、かしく 工手で似の疑問をなぐつた。 吸を削へぐつと引いた。そして左 思望をつかんで、平次郎は甚の あッ、か、かんにんして

びかれて、無限だ和来の膨走くへ心地がしてくる。戦闘の手にみち 質の確認にみちあふれた姿に関う それに挙をあはせる。すると、親 進れてゆかれる心地がしてくる 今ち、彼女はそれを思ひ出した

恋ろしい形相を持つて、 配くはうが光で、 てるたのだった。 暗い中で物音がした。ハッと心の ム名類を催きもせずに使中へかく のである。すると、かたと、既の 「何を見てみたつ?」 良人の平次部が、 お舌は、

かいて眠ってしまった。

こ、そつと、その顔を木沈へのせ

膨入つた良人を、循々とのぞい

お古は、西在童子のやうになっ

の個、野どのやうに、大きな肝を

める確翳のちへに任れると、そ

ねたものとみえ、彼女の歌きかけ

でかためてみたが、摩ひに耐へか

同で大きく息を吐いて、酷く、拳し

自身も息がされたのであらう。

った。平次郎は、睨めするて、

お告は、それだけしか云けなか

「すべためッ」

いがつて、もう無えとは、何の云

いに良人の疑惑語を取らせるも 塩品合、いひわけをする事は、 する間もなかつた。元も、こん であることもお古はよく知つて の親歌上人が、彼女のために皆し り出した。 配者の媒から、何か大事さらに世 で、小さい軸に仕立て、自身の心 お吉はそれを、良人の心をしらん てくれた大字の名號であった。 として常に肌に扱めてあ ーそれはいつか信息

ふと、住きる方を失つた時、 お古は名戦を取り出して、

役も苦役とは思けなくなつてしま やうに、一つの問題を持つて、苦 してゐると、その梭の音は、いつ いて、求めなければならなかった。 か自分のかなしみを慰める音樂の わすれ、思面もわすれ、心に だが、さらした不合理な苦 一念に役をうごか 王のは虫 許特賣專 錠





高級ゑりあか取り

雙用瓶·大五 建 假

星高管

保土谷曹達雜製品陸海軍御用工場 本語 金星 平原原市芝原田村町二の八

1位を以下のは

(間) (新) (版) (図) 大) (郷) 人 五 ナ

リナンフ のタ 四 ā 倍

して居る事を御存じですか、効な、お買になる一袋の量が激減染料に使はれる爲値段が暴騰し 優るものはありませんから此際 断然ホドデン黨に御代り下さい 即と云い値段と云ひホドデンに 一棒脳の





超えてゐるし、あしたの仕事に出

良人の群ひは、もう十分の度を

けて、ほっと自分に配った。

それから、勝手光の片づけもの

てやり、足のはうへ、

変の具を

慰夫佛妻(三) 東國篇

吉川

英

治作

山村耕花畵

「お話はもうございませぬ、それ の間の後にも定づかはれたので、

もうお腔みなさいませる

虫よけには駄目なナフタリンが

許品です。

を家庭向にした信用ある事質特

ホドチンは陸軍被服廠の御用品

絶對にございません。 ホドデン以上のものは

秩父宮殿下御渡歐の趣に洩れ承る

で簡単語と御観交録の外除き 我が真常におかせられても 陛下師名代として畏くも には欧羅巴各國は勿論 界各域の元首高

最大方を強く御渡突せしめら

御親変の程

る、腐態御様行の御幌備

風の心はされるやに現れ

世界平和のために問題を結び例もありまた日英和園は包で また。天皇陛下には東宮に御

して御来訪あらせられたる等

初度の軍隊も央京ロンドンに

拠紀の高雲は明年五月十八日

せられ御後免職ばされた御則 見官依仁望王を御髪遺、 く東郷、乃木硐大將を聞へさ には妃殿下御間伊にて武

ず五世の城地式には明治天皇 承る、正式御袂定の上は際下 には妃故下御前伊御前例によ の御事になるやの御趣と洩れ させられる百段下には親王師

り現陸海軍大、中將中から各

治四十四年六月の先帝ジョー して異くも重き創任務を帰び 極みであり 唯下の御名代と 歌頭に御在しましからく御在

能性があると思つてゐる、臨時 にないと思つてゐる。 し いから目的秘といふものを設けて りたいと思つてゐる。 他へば対 りりンをの動きものには一分可 のでは、 だけでなく解來のことも十分と ならうが、公債だつて十二年度 はおいかことも十分と 度に構造き輸出と最人の調節を増税の程度は始めから一定の限いふことはしないつもりだし、 「増粮の棚をどん」(一種や一型水が多いからといつ)

既において右に馳して、公郎の超 (旅遊のため新川海の)帰に(献き二名が、馬堪蘭祖は上八日肺海)彫 後一時三十分上野建列県にて退起るるが、馬堪蘭祖は上八日肺海)彫 後一時三十分上野建列県にて退起した日子 園師の元 急患るる部を述べて増配の新方法 を影する 殿師増配の外に新に月面裾脈戳の きまする 操にこれが眺望の神虚報として一 は1 緊急 操にこれが眺望の神虚報として一 第52年 | 1920年 るが威相は耐日加州に於て左の如 國防と財政との副和をはかる目的 設行を減少するためにも有意義財源を捻出するとすれば公債の

年度の規則するに當つてその暦年制がよいと思つてゐる。

勢ひを示し十八日正午現在ダンチメリラにおける叛乱は既然城大の

司令官エリテラ中佐を中心とする

し税制料理を断行する決心 脱革を加へ中央地方地方総であるから地方

一定の限度が存する跡を指「彼の上二十日早朔帰京の豫定であ」。 も十七日で大韓出期つたやうずして4 に勝して、至陽の級「布景のオめ郷手をなっ原用に刺ぎ二」。 各省で研究中であつた武大図碑

野現するわけである。なほ礼支 野現するわけである。なほ礼支 が成姿を見るに至ったこれによって が成姿を見るに至ったこれによっ な姿を見るに至ったこれによっ が成姿を見るに至ったこれによっ な姿を見るに至ったこれによっ な姿を見るに至ったこれによっ な姿を見るに至ったこれによっ な姿を見るに至ったこれによっ

領がしきりと総職にからるので本

、十八日夜同食賞コック京城内器で内食中、内部のものとにら

恩師に父母に

明初夏英帝戴冠式に

金剛館

弟妹に・友人に

- トの底鉄中鑑よりも早く出版し「街やしめた京城高宏町五七級台 - 77 - 17 を自由した、探は脚デバーさん(m.)を動郷別パットで強打。 | 夜町版鋳類(m.)を取調べたところ「の男、京城黄金町二の六七1和終 さん(『」)を野塚用バットで強打街の男、京城黄金町二の六七旦利道 を作此中自分で町取り町場三直奏

敗百国に上つてゐる 喧嘩三重奏 被害者死亡

鱈の活卵



の功を残して

は兵道殿のため十九日午町六時廿 を名焼りに男追京城東崇町一番地

が形込んであた、めば繋が下りず、原列車は、に乗塔を纏してこの樋の事故の段態房出に第一門むなく七分間立代生して御殿助事が解放を、めてみるでしたなく七分間立代生して御殿助事が解放を、めてみるで、それにより

が京義観長副編を通過の際・徹底戦争の驟段」で京城聡道事物局で1週頃し十九日曾内谷職十二日午前二陸軍奉天總後山行標急。ひかり』 過職で思つたこの戦事は局職でも初めての事

長湍撃を叩き起す

ぐつすり寢てゐた赤信號

たくき起してやつと、連曲した、國際別事の通

が流の方針である を新設合後は低年線以前に高級 あったほ数合簡では低火物の作業

娑婆に半月

本部事務主任就任以來、赤十字間氏は明治州九年日赤韓國委員

本部總合の新築に努力したほど、六回別席、赤十字病院の建設、一部門に正四、陸磯稲人曾總官

再び古巣へ

上めてあるが第二次政策は上級権 で無貨二千里を見込んで映解をす第二回の清野政策を異応する計画

の解卵を酸内適地へ放つ豫定であ



藗

サルカリアのディンの曲でである。田練習曲・ハ長調での一番である。田様習曲・ハ長調での一番である。 歌劇「ブアウスト」ダブレンチ歌劇「道化師」プロローグ トツカータとフーグ・二短調 シュルスメス サトの行動を

追字離後(明二二年後五時京場所発前曹本朝寺またテ時廿五分死去仕候間此段匈通和申上候父大郎後、永々持、家中ノ處本日午前六

男 大 橋 「White in Line

正恒

ポロフスキー 流行歌

たファイテングスピリクトを見せ、大碗大の記載を出した新井讃寺も のまながらに最初が上記におされるが野に出る雲入首り もに遊かに 記数り 大家連ばが悪魔以上には水道像下に高しよっしかったが田口正治 さきに道水路で出した仕様記録: つっイリッピンの外人もともに から 大家連ばが悪魔以上にお道像は金融では、選手は五十七秒五を出しむったが田口正治 さきに道水路で出した世様記録: つったが田口正治 さきに道水路で出した世様記録: つっての観察は想を歌に思る雲入首り もに遊かに 記数り 大家連ばが悪魔以上にお道路に超る雲入首り もに遊かに 記数り 大家連ばが悪魔以上にはなるが新井は側に 七で選佐の新記録に超る雲入首り もに遊かに 記数り 大家連ばが悪魔以上にはなるが新井は側に 七で選佐の新記録に超る雲入首り もに遊かに 記数り 大家連ばが悪魔以上にはなるが新井は側に 七で選佐の新記録に超る雲入首り もに遊かに 記数り 大家連ばが悪魔以上にはなるが新井は側に 七で選佐の新記録に超る雲入首り もに遊かに 記数り 大家連ばが悪魔以上になり、大家は一大の世様にはない。

押された かのでは、別兵の財政で逃げの「非三一で破ってあるところ

に侵入を全て所店舗西側の煙を所 田加盟町鉄城商後邊メキョ方かん 我が家に帰ったが、生活難に耐へ

百(単)は六月廿九日側二年の熱役

を了へて大田無務所を出所優しの 【大田】 江川郡沃川面門井里金

百メ

トル背泳に一分七秒二の大記録

充質は

鉄を更新しなんたる一分七秒

後も引続き午町中に大記録を出し

浩川更に一分七砂

【ベルリン十八日同盟特派員】午

日本新記録並にコジヤ 將が百米背泳で自己の 日の殿大坂村は 清川正一主

日本新記跡を出した 派し根上の保持する四分四十五枚

持する一分八秒六の クの保持する一分八 のオリンピック記

一般五十八秒の記録で雕貫さを見せ

四百米では牧野、根上共に好副を

口脳長に引率され十八日午前六時

中、近路の事から喧嘩、意間監ぎ が同町オーケー供楽部で麻雀皆博

| 夜上後 | 二宮記錐氏5十三名で | 四日曜日本 | 4兵朮解立上巻

京城低珠町二八李數城(五)外败名

賭博中檢學

ック機選隊一行七十名は、一般開出 【ハルピン十九日同盟】オリンピ

ベルリンに向つた

フ提手と並んだわが清川主 か、ボールにおけるわが水 ク・アールにおけるわが水

日午町八時二十分回廊列車で一路 二十分ヘルビン解者一泊の上十九

南関の歌はずから きなり、生の神出 となった。 から出 がらがり出

本子を盗まる

十分入城大塚原館卅日設內地

「ローズ・マリー」とり ロー・ズ・マリー・サッド・フィオ・ インディアン・リー・サッド・フィオ・

サイクター・ヤング・

御會葬御禮

友親仲

人戚本

同同郎

迎

南より島城南より島城

六秒六の記録を出した新井選手も

(シリー・ニング (ジリー・ニング)

【タンデール=フランス領モロツ 英ト協定を一方的に破棄しその記 府は十五日型伊副裁倣回を質配す 「アンゴラ十八日同盟」トルコ政 と共に地中後担互援助に闘する タリー政府へ通告したと原因す 工政府、制裁《回 八日同盟』元メリラ駐屯年

戸を呼ぶ流

歌

ボ 17 12 1-1-

電話本局三四八五番の八五番の八五番の

----町本は京

明澤 雅子

島の夕波山までき船頭月夜河崎一郎

モロツコ

目的稅創設論

ソリン税、軍需工業會社課税等

イン競モロッコの軍事態態耐多粒| 叛軍に歴代したと際へられる何れ| 漢定限として解散等で取調中では「ルへの僻勢によれば疾軍はスペー度及し襲にモロッコの養然機能も 配の果工人日女界上したので僻壁。 数ひを減し十八日止年現在タッサード・ジブラルタル街島戦スーターに (ござ)は被戦勢日さんがその後駆出 部占護するに至ったと報ぎられるにせよ刻々重大化の兆ありと見ら

れたり盛つたり「明日」風弱く 盛つたり 【明日】 同じ

盛つたり【明日】同じ 京城地方 [今略] 晴れたり

度の低目を示してゐますが西側は二三を高くなつてゐますが西側は二三度の高目で元山では七度

死機は解削に附すことになった 端新草町九八家具型酒菜松下器

即氏表前枝ざん("*)は敷目削配

型でたり

俚謠ボツボリ ギンス・フェー・

坂石

本龍馬

高田 浩吉

昭 の風物で 右間

全般天氣豫報四四

あったの私で結城道子の私で結城道子

培服 医二苯基酚

き東海林太郎

で油地獄

叛乱は既に全モロッコに銀大し目 れる

早朝出勤して

貴金屬を盗む

デパート店員の悪

京城等自貨店で配定衣頭、賃金鹽一て働いてゐたので上のものからも なかくし真面目でよろしいといけ をしてゐた、被臣は約三十代二子 れてるたが、その早朝出動で思さ 引記さず七日は長なテル子さん(『 /が赤啊を

設定され、十八日は長

第一件年 上的 仮則 070 0元 00元 00元 00元 00元 00元 仁川の潮時

南川東の風場く 見に関われて 関連の回 の風劇く

右同 商 有品 有同

小鳥と仔馬 時間共三子四の ゆさん 河 オ原王 野 の 提 灯 ネ同志は子 四の で が ネ 同本 の 本 子 田 珍 子 田 珍 子 田 珍 子 田 珍 子 田 珍 子 田 か 子 お か 一 数 一 数 一 数 一 数 一 数 一 数 一 数 一 数

佐藤安 來 節 包盖官 津 松 坂 節

蒸縣戀 愛教授

疏给 木光太郎 白 **約**第

誰

竹本東殿

陷離

さんの奥さん久子さん(2元は十八円地へ)行く 原城西四町

鎭海灘内に

赤十字に幾多

粒の成骸如何は明年冬でなければ

無海融内へ関帯した韓の油那四点でます。即参復者の漁組聯合領で

止腹に制限しないか今冬も引散さ













こさずに 飲める

デ機元郷高歴 専筒土木建築数工用機械工具 機 機 合 合 中央は最新型コンクリー根機械合名會社

神典神様大郎

中根式索條捲揚機械

り訂正高心至と見られ押目問題が上帝間環決定符ちなるも利題新更寮副員りも採算株には反響

は反響一節は五人の家来を従へて馬上で、

もので、手凡な郷工が虎を描く

一題、竹といふものは虎の好む

云ふ竹の山を越して行けば、道は

て行けば六里ある、併し竹嶽園と

日曜氣配

オリ

121

ŋ

村 0 邦

1

ツク

で、大要左の如く述べてゐる

ブ簡単一經域大山部形式八名は、本能主能の地域造版破別とキャン

山からの便り

去る十三日が城場館 孤い山脈に

は としつ、あることは毎月に値する としつ、あることは毎月に贈れるが、有書題に関し

一捻出してゐるか恐らく誰も知るま

アラスカ根據地に

に明渡 の一部は十七日側第五師のため武 及び替兵級に進亡者田し第六師

け逃走した、空軍副司令首光蛇氏 五十四路は突如十八日朝龍脇に向『毎東十八日同記』 医東軍飛行機 はまた別に三世を取る一番指に述 **卒軍大舉逃亡**

の江地で一〇数五品で報

龍山曙構内で

とは子は一切の腕を鮮せん 八日午後大時頭東市内外近郊に観した 保佐藤が出めの政能援りで市内外 に出時在の政治を殺した 保佐藤が出物の政能援りで市内外近郊に報 職の結果如何によって認起し築動 近郊の受所を被つてゐる、十八日

福岡へ遠征の

(部) 配射、排光 (配) 三氏腔戰一合は十八日午後二時中から、解析 部建築、京城閣が最大分高間の料

で京辞勝つ、閉脳午後四時三十分 電報配達夫

惟思、大昭府の劉挺等は、何れら 如松等を始め、善山府に企つた異に随を扱つてゐた明軍の総大將李 竹の山には多くの緑茂が態息して竹の山には多くの緑茂が原の中へ駆け込む、所でこの竹花臓の

無益の犠牲をなすに忍びす

女侠奴の小葛外等

に

木

ネオデリン 京城本町

株式會社

房

SA PAR

村 藥

社會式採油應田野 建用卸省內宮

油置ウリミガチ・ウ

鐵鉢形山水模樣刺身皿(全里女)

れなく進呈

特別區域

爾其全直

F-18

印八立 一識

毎に

各印二立一場のに

半磁器彫刻模樣貝形三五

枚 皿

鹿子嶌模様小井五

人前

組

十六立 一樽

毎に

神したが、この時、即歐主計頭洞。 半身を現ーたは、一匹の電路

從つて、兩軍は、な任範山に対 見難すと、先方の竹殿からぬつと。 合脈行かず、とゾ兵両が四國を

車性な計りごとであった。

月日を解消する

)使つて少しも強のない、そしてキキメー 議論の餘地 なし

年前れまれの快翔のやうに1日



師本ルートカ



グリコガ 事のには、

全三幸福を保 標に御注意下 設する上掲商

來る唯一の煉 元 之 乳原

クは育兒用と さいワシミル 靜 办

N

動く夏雲―城津燈台附近

といったところで知る者はない、一ない作品でしかも作家はチャトば【清津】小説『無為戦の愛』など「知らぬも道理、またる然性に出て

П

瓜畑で

園

部落民二名匕首で刺さる

鎭南浦府外の騒き

れず百七十五級の艦飛網両子名の網師は関手のまゝ登しく得六月下心から十一月初心までを勝撃とするに掘らず一脚も渡って開かが、焼を売せず自覚園の經經がある鍼派機内の如きは

a酷いのは従年三百萬國乃至四百萬國の水揚げがある名<u>鹿</u>照

少年軍」と部落民

で推移するものとして営業 満を心骸させてあるが打蝦の鼓(て笠山、緑鹭の関子取引市場にまで鉄剣に屋映して空間の閉で出出) 寄以来不能散きの製剤の帯上異態は富分律令の誤戯) 要する始末で散気拡大とみられてある、鄭子豊の不遜は恋い

敗張りを記し現物揺底の結果海に内地産イソコが登山へ入りて登山、統營の原子取引市場にまで深刻に反映して多削の閉 込む有標でこんなことは医園始まつて以来の珍規像といはれ

千の漁師泣

釜山統營の市塲⇒大打擊

煎子鰮影も見せず

道頭駆災西田常三四氏、原西藤町「元山」師範歇校同既で新伝した 二氏に留任

對し近鄰代表態臟循環、雨自就、「だはつきりしない。」

元山の縺れ

符別服成大組織,町内駅合館代表商職代表三隅襲一、金景俊、面職

清津土建研

二 三 四 五

六七八九十

2000 Q

(制限時間各八時間)

緊要時間(胆士・二六

(一分以内は切迹)

慶南空前の珍現象

絡を進つては、断然慢 (自) ロー上下の連

物に、じたぞうに任恵

評解

(間 考

-000 -000 -000 -000 -000

三百『ほ九』の供移を恐定したなよとばの如く駐平排撃しとばの如く駐平排撃し

長谷川章 段

らば壁して 有力とも 考へられな

大方を口までの聴訴を築つては、 な、九二、九四と無妙の働きを勝ぜら は、九二、九四と無妙の働きを勝ぜら

9歳しい筋、鬱等圏の結果を得れ、り、大勢は自己傾いたものと見らこゝはざる九4のコスミッケが最、黑の頽勢は願る顕著たるものがあ

れる

對局者の言葉

策がなさすぎました(黒)九一の突然りは、除りに

調子を得たやうです。

終つた。となり今年の三月學校を退いてとなり今年の三月學校を退いて

『無点側の髪』であった

詐欺辯護士

選入李健ル外一各を拉法した。 がら江殿、城南を煎々し二日ばか それから悪へ戦的、盗みを続けな

不正順母子 * 二名を送局 り現金五十川を回取して揃へられ り前に府内浦項洞の米量に忍び入一部的空間。の能物能に對して八日

午前十時宣游法院松本級別長は意

[天郎] 元京城府鎮藤段、紋籔士[天郎] 元京城府鎮藤段、紋籔士

在日された所内部平町三丁目田湯 一一一一 不正和母子聯協場として

に土曜が罪を推し郷軍駅合分階と、7800申院をしたこの部の場人りと「【成異】十八日威層園垣情景==|に腕する盟則を決定したのを懲せ、は、四日次の殺人事実験生の総職| 匪賊に「拉士」さる

一番局で注意

釜山國防 ル學協會

四部場かり

吉神氏を副館長とし町事長に繁殖した生後一岸路館し、八道藩如業水里的正に清在する匪苗神氏を副館長とし町事長に繁殖した生後一岸路路し、八道藩如業水里的正に清在する匪 凶縁つきの日 少年の惨死

墜落し頭部を强打

疾走中自動車から

九曜年晩大和町採屋街を自儺車で「水源手原にあるから着砂を捧つて「霊長によりな調べ中であつたが、つけて嘘の皆みさうな十八日牛刺(ごごが破壊され大麻納射近のフォ」る辨え不由事性は竜山野藤永郷産りていた。 織のれん》の主人帝鸞は「霊田寺」なった。 織のれん》の主人帝鸞は「霊田寺」なった。 織のれん》の主人帝鸞は「霊田寺」なった。 織のれん》の主人帝鸞は「霊田寺」なった。 織のれん》の主人帝鸞は「霊田寺」なった。 に魅す と称う人。労出したのが失滅小説」として直もに上告した。 一切を消算する使用となったもの一個ハケ月、三年間製行網路の物決

今月中に全部始末

河川敷の家屋 やつと自發撤去

監察官等形の下に十六、七陣日にから仁川湖の生れ出るまでの話が る語で、昨年九月以来南西に占銀 田田 コントラストを記した 亘りは後的線値たる過級撤去を明 あり如ずなく「今後どうぞ御利用 [羅華] 河川警案屋に動し角では 四季の頃。で聞かれた、永井府野 既た態度に既に強調し、自義認法 移つたが美しく者飾った来戦の動 出るもの証出してゐるが、節計 たところ河川住民は雷局の強一下さい」と影響、それより凱紋 羅津都計の癌癒の 人態の受は近代美を誇る仁川閣と

中には鑑出を完了する模様である では去る上四日が戦の成告を受け 光ずして移物する見込みである。 食有地五声は十七日に至り成田 てるたが川野工作物も大農本月 を除く四戸がに登び順節令に調 林裕浩に敗められた 一般更要言義林雄務所は延吉 正三件ひ從來の森林耶務所は林 事務所改稱 洲灣の書酬延吉の森林 [延] 3 第 大邱稅監局辭令

命馬山稅初署在動 命馬山稅初署在動 命馬山稅初署在動 大邱岩區邊生 金水

命元邱起務署在動 小西幸三郎

Ø

居島巡邏 安本 浩二

新義州郊外唯一の散策地

古津面が乗り出す

を公園化

れ、季が個となってあるとも知ら、なほ志田総覧は混入連師の際視人ると果せるかな一名の支孔人が塊。れるのではないかとみられてある 境内で一味の來るのを得伏せてる。際的な常便脈が明るみに暴け出さ 込み十七日午後一時半原剪炉柳宮一関しないが、取調べ並行と共に図

ると果せるかに「名の支」人が思

を陥として十六日午後京城に乗り一ぐんで多くを融られたの辞細は物 世、志村巡査、安那事の三名は李一に密政してみたもの、目下日をつ 外にも意味電山公園を開設度所と

事實が判明、直ちに附并附生主

て大がかりな取引が行はれてる

高術生像で極寒取調べの結果、窓一右犯人は山東省生も振いまで、こと

|計白龍(世)||何れも假名||で(ロ イン一包(四十グラム)を七十

> たか……ご多分に洩れず起罪の戡。の男がどうして奇盗犯の名名を岩 て曲りなりにも小説を割下すほど

翌年を、美男で富豪の基子であ「十八日午後六時から録遣い而黻。 (*h)で市城美田門県校文科三年「総名の『仁川猷《賦工選書或録はこの男は 咸富安逸生れ 申明書 【仁川】ミナトの自優、宇垣越督」の男は 咸富安逸生れ 申明書

から百五十四古での値段で金融的

して府内上町季恵九(き)を大昭 | 日午旬六時半大昭署に引揚げた、「大四」去る十四日後羅康総改善。大陸腕を滅じた末満く巡浦・十八

場所もあらうに神域内で

に欺されて密賣團御用

仁川閣竣工

披露祝宴

かり毛色の壁つた泥棉である、さ一には矢弧りながあつた

釈じ石版を中心に映画さながらの「ちて手足に打撲原を買つたずに取引をはじめたのでその版に」と取組んだます石の階版を解げる

失戀に歪んだ心

悲しき文學青年が

自暴自棄から盗み

すべく古津面が中心となつて奈定 山を新蔵が近郊唯一の天然公園と

するものを大いに知符されてゐる。

▲十八日歌山山麓に高宿▲十九日见题台震宿《十七日见题台震宿《二十日发野小园 1日见题台震宿《二十日民聚谷小园归 11日以南泊《二十三日朱乙里 11日以南泊《二十三日朱乙里

冠帽拳研究團 [49]

してゐる一大公園は近き將來、國

頭をもたげてゐる小高い山、石首一律面の音頭によって出來上らんと

酸防に寄効す。故に実際問題と間以内なれば短管一本にて、と 粉末なればこそ

【香蓮僧】 多野陰蘂道の完成、 南 紫年した流は諸道で別跡の景色は | 野城郡波行党主催の朝鮮随一の島口野談及び歌樂道路 郊外部 | と称されてあるので背来 | 七月野町の金行社選の里覧 | 新東州サラリーマンの郊外世で地 | 同度は未る温泉に一治・左の日福となって来た石下院の南方一帯に | と総称の紫秋と優くてあるので古 で同様を依め二十三日夫と選集館となって来た石下院の南方 | 帯に | 将町砂田の東道で出数 | 大田町町の金行社域の東道で出数となって来た石下院の南方 | 帯面の書道によって出版上もると | 着の後足

在建新建月第四十二里、命签山岩在建新建月第四十二里、命签山岩 在权物庭总统三十五国、命府山岩体和城区 即 時 曾 命何州舎同程郡長 按止

登録台博士の

發賣元

友

 \mathbf{E}

合

資

會

優 響 口 座・東 京・一 九 三 八電話日本語(上四八 七四九 七四七

淋 際帯、子宮頸管淋には短管十本人を使用すべし。 **入を使用すべし。** 入を使用すべし。 疾

(外に大量人、病院用あり) 優智十本人(男子科性関疾用) 三二本人(建防用、初或染用) ウラルゴールの種類と價格 英米佛專賣特許 樂種貿易鹿 (使用に要する時間、一本催かに二、三分) (治療用としては一日一本或は二本使用の事) (殺菌作用持續時間、一本にて三時間より六時間)

東京市日本橋區本町三ノ一 A カグリリー O円七五 OOTH 通りの E PHO 佐菌性尿道カタルは短管十本人を使用すべし。

入すれば、 先づ殺菌・ 盆々名群を高めつゝある。 間の作用中も、 を連續し 除々に溶 の弾力性 發質したのである。 男子

粉末に成功

效力不充分なる事が判明した。

B

完成された。 一気は内服を、あっては不衰明は

U. 54



藥の發明 創製に就て

獨選醫科大學が始祖 ウラルゴール療法の最初の研究は獨逸 智科大 **淋疾難治の原因** 元來、男子の淋疾は、尿道内の結蹊に潜在繁殖しついある淋解が に成功した。之が現在のウラルゴールである。 深部に潜伏する淋菌にまで、共の殺菌力を深遠せしめ の細き管中に入れたのである。故に此の管を尿道へ挿し、しかして此の粉末を亘ちに溶解する極めて薄き皮 ここに始めて眞の本格的治療法に到達し、しかも長時 まで平等に分布密着し、洪まト體温と分泌液によつて に、水溶液の如く直ちに外部へ流出する事なく、尿道 翻製途上の苦心 しかして研究節初は之を内服療とすべく考究したれど、内服薬に 學泌尿科に於て開始され、 次いで本邦に於ても東京帝大敦授、 かくてウラルゴールは其の質牒的治療效果と安全なる使用法とによ 肥博士始め各學者間に於て、之を淋疾療法上に於ける 新發見なり の銀瀬と、此の教諭力を精膜に資援せしむる作用を有する色素剤とな、獨特の方法とより化墨的に結合し、同一頭品にて教諭力と保護作用を怠惰せしむる事」に成功した。之がウラルゴール完成の第一步である。 從つて淋疾の全治は順名長日月を應し、此間に於ける患者の密係は頗る乱犬である。然るに之に耐し徒來の夢品は共に一長一規あり、容易に治療效果を期し輝く、死滅せざれば根本的に全治するものに非才とは、本門醫家の等しく肯定する所であ つひに彼れに優るものを創製し、日英米佛の製法專賣特許を得て **究と實驗に売手し、 各専門家に依嘱し多大の犠牲を排ひたる結果** として展々報告討議された。 此の間にあつて我社は卒先 此の研 づ之を水溶液とし、尿道内へ注入質糖したる所、其の主題が特殊の銀期と色漆剤の あり、よつて更らに之を関型様に顕としたるが、是れにても高層及び作用の點に数へ直接的なりとても尿道消襲に遷在する頑強なる滞留に對しては、五十歩首歩の暴 化合物なるにより、色素の配合なき異なる銀パ溶液の注入に比し、治療效果著しき よって更らに之を国皇権で顕としたるが、是れにても辞辨及び作用の點に放 る事が説明された。されど水溶液にては、尿道の弾力性によつて直ちに尿道 は即時之を使用して快心の結果を得られよ。 り答案門醫家のみならず、事門外にまで畜々と使用せられ **解設潤しつゝ、 独時間にわたり殺菌深遠作用** と深遠性
こゝに研究の基礎を置き、先づ「淋漓に對し穀協力強き特殊 によって却つて、尿道粘膜の微細なる部分に し、其の作用は一回値か敷分に過ぎす、かくる短時間の作用にては、たと かに親遠深巡力ありと壁も結局は間接的補助別たるを绝かれず。よつて先 粘膜表面にある淋菌は勿論、粘膜側管及び 外管は直ちに溶解し、内容は粉末なるが故 再び研究と實験を續け、つひに之を粉末と 刺戟、副作用、不快感なからしむる事 ±



航空國策並に商工者の燃料國策は軍に認信、商工組

内閣の動向注視

間積を五、六仲に限定せらるべくその内容は従来の経緯が

は近米業界に反對の塵を聞くにも拘

部であるが三長官の職により優先的に決定せらるべき副

に着手した。耐して関係局としては底に絶求各省総数には了す に着手した。耐して関係局としては底に絶求各省総数に 開版は右下審査の結果を推議の上版田首相に過言する られ数日中には重要国策の項目決定を行び得る見込み

官中實際政策を検討する立場にある吉田淵

結論さ れるからこの時

は厦田内閣は明年度においても何一部内にもその意向が強く動いてゐ

超音をなすべく符像の要素を | 豫算に組込まれずに装るにおいて | の屈所温退を阻にする監督であり 理であるが像旗編成期に至つても一臣の一戦としてその職資を至うす

びか監明を題し歴政・新一番見るべき既成一新上その原思な一名から八月に入って随張の具體的

協議の行ばれる場合適當の時期を

石友三氏北平へ

にめ第出身開閉、政務官も出席

を背景とし馬政・新をその使「昭打つ以上相當經費を押・べきは 要あり連かにその實現を超るは無しとの見極めがついた場合國務大 陸軍はこれに信知しその實地を待 當然であるが確信の開放を埋る心。つては到底その實現を問題し存在 時期を見て陸相重大發言せ と見、引責の外はあるまいとして あるやうである。

寺内陸相は陸軍

> の如き事務的の基成方針が場合けれないため如何なる點に基準を定を開始する方針である。こかしてこれが変定方針としては例年 明年度像算學末概算書が提出されるのを語って注託局において通

2見込がついたので、東月十日崩までには各省の

省の遺理開策中最も悲劇必要なあと認められるものけ相當

いては相互理解の下に練習の合理化をいては相互理解の下に練習の合理化をいては大概されを承認するも誤賛の単

内質館において明賀町田郷似をは 該爾は二十日午前十一時より丸ツ か進むか」の決定的態度を明 すると翻測せられその限度は正 【東京電話】民政党の定例なり根 民政黨員懇

常に離局を推測され、従って大陸事務當局は國防計道と見の内容 との間に敷囲の政治的折断を重ねるの他なかるべ 公賦武威主義を撤襲してあるだけ重都の帰帳な要求と財政の職質難解決の職で殊に遇期財政においては高橋財政のモットーとした。 定めんとするが知然しないが受するに地下の時局に極みて温防費 在を調材せしめるために順る困嫌を感じ首相、戯相と陸陸軍 」境税及び公債施行額との報告の限度を如何に顕和し得るかに問

については民に挑跳當局の反對無向あり歌 以上の大項目程度と見られ右のほか問題の義務教育年限延長問題 吉田調係局長官が如何なる措置をとるか往目されてゐる これには無視することは出来す。また内緒省關係の「國民保健」の「政策は既に漁殿の開議でも調査局に立案を命じてゐる位であっこれには推奨がらるべく 政語策の版に不満を有して居るので平生文目の強硬主張に対し 業の農村對策が國民生活安定を力能してゐるの 必るが調客局としては挑戦の歌より歌う変祖衆に現れた教育内 るかせにし都ざる重度性を認められ一般においては農林衛提名より提条されてあるが刻下の関際建済情勢より見て一日もげられることは臘質である。 次に留自夕同窓年に覆丁外務

陸海軍國防計畫は

原則
ミして優先審議

調査局、下審査に着手 他命された元気玉年氏屋下の粉質 平本日中に来る元氏と意見の話で 位及三氏は就住のため十九日午前

その他各版においても非常な關心 のるが軍族院研究費お上び公正官 して貴族院各方面の意向を綜合 もつてその管理を期してゐる 教育二ヶ年延長については各

電力國營、航空、燃料、貿易、農村、保健等

一般の終合的敬育を施すことが「際しては勿範今後の御際情勢を十、て考慮を使す用診を聞いてあるとはその未襲物碑は全く 大、智育、選育、選育、選育、選育の基本と解しては勿範今後の御際情勢を十、て考慮を使す用した所属が表別して国際の実际を呼ずるための「現立となる。」で、まれを二ケ際して国際の実际を呼ずるための「現立となる。」で、まれを二ケ際して国際の実际を呼ずるための「現立となる。」で、まれを二ケ際して国際の実际を呼ずるための「現立を表明して新年側が減の一般に収録する。」と続むる場合は別様に関い、首相、解明、報明、中華、選手、との表記に関いて新年側が減の一大の表記を表明している。 までには建築省職に附職し継くも「書を提出就用した際、首相、駅県おいて部数整理中であるが今月末」永野笹相は低に十七日の開設石文・戦に明年度業算総は日下新理局に「出来ないとの想向を育してをり、・戦に明年度業算総は日下新理局に「出来ないとの想向を育してをり、・戦の計画を発出したものであり一歩も駆り

海軍新國防案

我務教育延長

趣旨には賛成

スペイン

にも擾亂勃發 カナリヤ群島

マチスと

な

四閣更洪 モロツコ医療

の左翼線合四個はモロフコ帝

歩り譲らす

耐は少失业解解を推進敗是に分乗 今回の接急は左翼線合の聴内職に あきたらぬ右翼部版の計画で称 のといはれる、その元光は監氏 月前から計画が進められて来た

선

涌みが早く治るのに驚く 肩腕·手足・顔面・坐骨等の 程痛の治療 全安の理 御

ひ

アナリア肝器の叛乱が成功すれば 八民族な肖ロブレスで、モロフコ 作を整度として急に行動を設す 極楽取を楽してみたがたまく 連絡ある首都の軍隊と協力して

1、西洋梨

黄桃

き見り相當強力なものと見り

路は料品

花柳病專門

無代理 (特別等 大火 自動 信 を 1 所

鍾路街立體化

担近代都市化粧の完成をめざす 作を強軟電話で行合せると様 飛事だ、就職の世話する」とて母

みと忘れ続いて

屑チヤージュュョ

传に限り特に意風にて楊政すの風光・鏡灣料金は削納の軍但武職議会は削納の軍但武職議会は一回毎に五十五號議等予立学語十回五行一

+

女中自

(電本一三〇七) 地 日 冰但內地人

たむて苦む者

わた天使絹綿

※ 京日案内

ある有標、原城の大助脈の一つ間 この健果許可願を削に汗をかいて

**巻層院の
動
脱
如
同
に
闘
す
る
大
影
省
の
方
針
が
は
と
決
定
し
た
の
で
こ
れ**

|地方財政調整炎的金融度の一百久化については是闕艦即に伴ふ 特別會計においては一般實計開釋出來得る限り經費の節約を

穀物協會

【山川】鉄物路流では十七日午後 定時總會別く 用逐年我五十我一月二月 ければキレイになる

可放験的記させ、名の任

山極帝國皇

女子 第次タイピストを求る 三成工業株式資産の地では、大き様等人来源年第二寺上り四時では、一大き様の大き様の一寺上り四時では、一大き様の大き様の大きな、一大きな、一大きな、一大きな、一大きな、一大きな、

第 球 端は界の対象法器是 京城 芸川町 京城 芸川町 京城 芸川町 京城 芸川町 京城 芸川町

有名な沼波家皇記漢松本で 古老中赤毛には特に大好評 白毛中赤毛には特に大好評 白毛中赤毛には特に大好評 白毛中赤毛には特に大好評 との解源が表現の質問を持ちている。 この解源が表現の質問を持ちている。 この解源が表現ので、大変の異数とする工芸を設した。 が関連が表現ので、大変の異数となった作者な た。最別数の楽学を野歌になった作者な た。最別数の楽学を野歌になった作者な た。最別数の楽学を野歌になった作者な た。最別数の楽学を野歌になった作者な た。またまた、大変になった。 た。また、大変になった。 た。また、大変になった。 た。また、大変になった。 たった。 たった。 は、大変になった。 たった。 は、大変になった。 たった。 は、大変になった。 になった。 たった。 は、たった。

する緊急令を競令した。 その内容

を提出すべき差徴を配ぜられてる トガルと共に九月の理事會に報告 しては過度理事館でダンチッと問

東壁になって騰博開埠中本町着貝町 張堤投方 申島Wei、外門名が、「東島Wei、外門名が、「東京城鉄忠場社林の中で京城に義

られる政府富局は識る

り間脳が自由市内の気振的新量 ス、フランス、ベルギー三級商隊ス敗種が鬱宜した時消滅してお れるがロンドンに開かれるイギリダンチッと自由市の紛争はナナーと直に虚議を進始する意向と見ら

思題し本竪鎚令を設布するに

展式を禁止す

波闌政府靜觀

禁止す(務法令復活)

【華氏97度】

てくれないかなア……」と深い希望を抱いて

この字のギャング高書院を太平洋方面へ選出し北へ遊かれてふる低

れも呼ば

も高頭も、衝路器も基盤にうだり無性に動者の液が楽しくなるカッと思った太陽、ジッとしてゐてもジックリ汗ばんでくる、梁西 九日午期十時廿五度九を示した京城府内の水銀柱は午後二時三

南を完全に占領してしまつたので、北海道方面ペチラと姿を見せ高高無難は韓面もなく上海方面に描がり、年後六時には宇島中部以《十九日午前六時小寺原島から宇島の南端へのさばり出した僧い

てゐると非能位の洋服男が『俺は

観君(デーが京城舞前でうろ/~し

た忠北丹陽和大崗面九山里が水一峰上東京大路に出るした京城高海

九日午後五時頃就職のため来城

ラウンドに於て行はれた金圏高西

七月十八。九日東京附崎立廊大グ

京城高商の戦績

全國高層陸上

「リルソウ十八日同盟」ボーラン一これに對し反對派は政府の依当な

6月田市参議院福長アルトロ・

歌る手段に到し上告の権利を護し襲送グライザー氏の緊急整合に對像助権実等に職し警察者富富のと選送グライザー氏の緊急整合に對係、手致所はギンチッと自由市器議院、

目下事態の振客を継続してゐる。題が前職された際イギリスがボル

治安緊急令を發布

判算を弾壓

田市参議院職長グライザー氏か緊

[日川] 英國支那艦隊巡洋電ドー

細に報告した後大阪の朝鮮日米

鮮米運動の協定に對する經過を詳 別題任に決定、更に加藤貞長から 上年期の収支計算を異議なく後部

で微鍵の離似選を行ったが認

ッシャー號は來る八月一日背島

佛、聯盟に提訴 - と上後- てあっ 制度を製造し速かに機会機能

企を助することになった

脳磁中であるが、聯盟に提訴する は分を配したとの報はプランス就

仁川府では歓迎戦備を進めてゐる から仁川港に入番、原玉日大連に

意見一致せず肌に委員を選び構力

に有発の上別策を練ることになっ

大の方には旅戦支給す 方の方には旅戦支給す 京城資金町三ノ二六〇 市城資金町三ノ二六〇

後月巡

本の主要がある。 「他子町の工人の本のます。」

女中角 **竹**五六製造の方数名

本日朝夕刊共八頁

簡れ一時患り悪し

けふの天気

佐藤代表は保留付受諾表明 懲まける調印式

勞働器同盟は十八日マドリッ

總能業を宣言 西班牙總同盟

再北上は困難視

さる

任を電話し来つたので宗氏は盛に 迎へられた王克政氏は昨日突如宋 雄せる に誠に鋤して参大の劉祥をもつて「るところ、魏に處懸蹠徹內部の被【北平十九月同盟】北文亞郡提撒「木側の鄭祥と、南居歐暦の希望す

翻訳との三番に 立ちす 軍の一部は既に撤退を明結し目下 と交替して廣東に人城する治で經 一部は西江より南方に移動中であ 果市内を通過しつくあり同地能

別増加し局夜は既に三、四千人に

り護果に入り込むば西軍の敷け到。て北上するもの多數

廣東に乘込む

の軍政聯合會商品上正式決定され たがこれを同時に終婚権氏を顕集 は十八日夜朗かれた選集派最後 版東十九日间盟 | 陳海紫氏の下

英米對抗庭球

どん底の太

裁れる志賀院

矢繼早やな三つの強盗事件を続つて

吹きで認ち届の海と化してしま

政治はモロツコを記録形のため に設結されるはずである スペイン政府

ハーレーダビッドソン -ターサイクル株式會社

朝鮮代理店 中四九一郎商店

及共同汽船工作

ルビ丸・京東

九州郵船株式會社

地は左趾へ御飛音数下世候 参山が第二種数二世所 九州・郷・船舎が出張所 九州・郷・船舎が出張所

語 野口 高 一造商

心中五十組を救けて へ無者お台所訪問 一圓で出來る婦人服 生養で出來る子供服 生養で出來る子供服 の美容秘訣集

庭療法

◎州分間手藝集 版器に等を協選

夏の急病應急手當法 **禺病獨り診斷と家庭療法** 氣獨り診斷法

料料料料 理理理理理理 第2000 | 第200 ました。スク御利時の種も、この大特別の大学を

6 組紐手藝集

の染色手藝集 押料が料で、情に染められ の造化手数集 電子飾りの遊花や可愛いいど 0 刺繍手藝集

廢物利用集

早いんだ

ロルー編手藝集 @ 手 彫 手 藝

国大阪商船與出帆

+

一のみ給へ、キキメ

頭痛點

いかにも早い!

「鹿豆十八日同盟」頭の紫氏の下

大阪・福岡・大連

會

警殿超迎查第一颗长 正午(平) 時報 日用品值版·鲜 鱼期值股 同一〇時三〇分(東)心の時間

『脈に欠あつさりお見切り給へ!』

量子は乾いた壁で鳴ぐやらにい

た配いだ億らしく量の上に黒い輪 一般れるものなら暖でで見るし 『佐田さん、お此しなさい上』

佐田と女 薬だ。まあ考へて見るがいゝ、只 『質女とは、そつちの女にいふ言 肌れた毛を削手で置き上げた。

の一度だってお願さんが私に金を

れといったら早く聞れ!」 「挑角だがさらは行かないよ。そ 「何時迄懸言を辿べる心界だる場

「有名な不良ですよ。男の中を派 目輪子は堪まりかねていった。 れとも叩き出せるものなら叩き出 「佐田さん、此の女一體何ですの

で女に移した。光列迄母に着けて

ての聲に節子は、燃えるやらな瞳

をチ切つて日曜子の礎を目がけて 佐田の振り上げた手が暴先に迫つ

八步

佐田が面子の前に立ちはだかって

ねえがたっ

一流争弱血戰普

<u>麗</u> 題金 食

マ市川氏

o 持時間各九時間 消費時間 金香桂玉

大駒の布陣には 直後の模様に注意 す手もあるが、それでは敵に三七 ごらんの通り六二飛と廻つて指

年前六時(東)ラチオ雅操 同六時110分(京)英宗課館(五 同六時110分(京)英宗課館(五 同七時1分(京)朝の終発 回身 成備義(1) 見志 等立 二十日番組 第一放送 (月曜日)

の身内の者ですよう

「身内と仰しやると、てつとり早

い聲で云つた。

同六時五五分(東)カレントトビ 坂田 文吉

□演□講□ 分五廿時六後

保健とラデオ體操

同七時 ニュース・天気見込・朧

月二十日までの一ヶ月間を期上

「云ふことはそれ大か」佐田は低

く云へば佐田さんの何に置るんで

ものですよ、先組から取ってあれ

し。佐田は私

頭っこないよう

「あんまり失魔なことは云はない

口を試つて知らぬ頭の生兵衛を挟

同六時10分(東)コドモの新

生 コドモの新聞

オ航道 五分 勝湖 保健とラデ 村崎 花子

向六時(六) 連續逐滿期 一桃谷町

日記(七)七月の街奏明より中総世忠子のいたづら

田 同六時 ラデオ競技 ラデオ競技 四 同六時 ラデオ競技 一日本アルフ 国 (河蛮協地工)より・戦ー

同八時二五分(後)日本アルフス 風景、夜の上高地 ―日本アルフス 上高地 ―日本アルフス

王 (第二国) (第二百) 第一百百分 (第一) 道花師

げて置いてさ、他に女が出來れば

めこまうたつて、さらは問題もや

張りぢや仕方がないわよ。

悠しがりやしませんよ

さら気食みたいに金々つて、金を | 酢黄の機を絞つて肥つてゐるお削

「お削さんとは選びますかられ、 でも恋しいのか?」佐田は焦々し

ーシん。 形質はよかつたね。 その

一 後山) 貧血の話

同三時四〇分(平)氣象通報 隆州市士 金 晟

在 同三時一五分 衛生誘河 (朝鮮計) 同三時(第)婦人議館 短歌と俳 同三時(第)婦人議館 短歌と俳 同野時四〇分 ニニース

同八時三〇分山岳傳説の夕

同七時三〇分(東)講演 り

北部出張貝

同六時二五分(単)講演 故返用

同三時一五分 衛生派派

程室 外

万上5一土非晚家作詩・傑華戸 午後零時五分 殿念外一日)明和日本灣民歌「光は東 午後零時五分 殿念外 第二一 放

山) 一切の は コース・気象通報・ 同一〇時三〇分(大)を 日一〇時 ・ コース・気象通報・ 同七時 「分 朝の修養

海原の対象(三)魚をおいしく 角類の対象(三)魚をおいしく

同零時三五分(東)國民歌画(第一年後零時五分(大)トーキー中職

たわねる。後の威張つた陸で恣威しとかかんだとか媚て、金を悟き上

『色女の前だと見えて大分威心つ

んな商扱けな頭はするもんちやな

「朝鮮耶船門

X天 海丸 日本海丸 日本海丸

何なる役割を有するかに就ても存 上げ如何に健康が大切であるか將

同八時五〇分(東)詩吟木行 二、中本節 問 西丰京郡中本 和歐浦不老園檢番|鮪米綱はして参りましたが昨年度 の参加人総敷は百三十萬人に上つ

三、正気の歌 瞬間武夫作二、清微(後帰) 西郷南洲作 見着の死亡率及び確病率の統計や 共の膨脹は今や金日本的に高つて

北部東京行

純極所直行

政師--開門

湖海 日 清平 日 元山湖海 日 清平 日 元山

首 湾鄉汽日 元山三日

克 新山区日 水浦三日

釜山—四門—神戸寄港 日清平日元山日

▼四十金 (33分) ▼八五世 (33分) ▼同 第 (2分) ▼八六世打

こくで三七角と出ると三三種と

外 日 瀬宮町 日 仁川 日 5 1 新鮮郷―郷郷―宮雲―坂 w

定價

二十五錢 四十五錢

薬店百貨店にてお求めありたし

める効果があり スマイルの携行によ

夏の外光から 外光から



用しあれば夾雑物や濁りを生ずること絶無です。 でイルの容器は硬質ガラス製なる爲め前配の如き憂いな更になく、口栓も不溶解性のグツタベルカを使いなりなら往々夾雑物(ゴミ)の混入あるに反し、ス薬液中ヘアルカリの遊離を見、又薬液に接觸した一葉液中ヘアルカリの遊離を見、又薬液に接觸した一



本紙一萬號記念懸賞小說二等當選

裝無斷上演映鑑

従つて、海へ山へ な炎症をも爽快に鎮靜せし によって起る、眼内の有害 焼きつける様な夏の紫外線 な消炎作用は、ギラギラと に、スマイルの影 りとする處の顯著



らされます

+

版大·京東 社 會 名 合 置 王 店理代總